

中国語におけるアニメ・漫画日本語借用語の 語構成に関する一考察

王 耀振*

Investigation of *Anime* Word-formation Characteristics
of Japanese Loanwords

Yaozhen Wang*

Received November 30, 2013

Abstract

From mid 19th century through early 20th century, there arose a surge of loanwords from Japanese into Chinese vocabulary. The loaning of Japanese words during this period covered such aspects as politics, economics, culture and life, etc., marked by large scale and all dimension. Almost half a century later, 1980s when reform and opening-up policy was comprehensively adopted in China witnessed another surge of loanwords from Japanese into Chinese vocabulary. Compared with the previous one, this surge is characterized by its unique feature. Although it is no match for its predecessor in terms of covered fields, it is not at all inferior to its former counterpart in terms of amount of loanwords. This surge of loanwords from Japanese mainly deals with vocabularies in such fields as economics and social culture, whereas those loanwords derived from cartoon culture occupy a large share among the loanwords belonging to social culture. Taking the Japanese loanwords derived from cartoon works as studying object, this article tries to investigate their formation characteristics from the perspective of their development.

キーワード

アニメ・漫画、借用語、語構成

1. はじめに

19 世紀半ばより 20 世紀初頭頃にかけて、中国語の語彙分野においては日本語借用語の受け入れが一つの大きな流れを作った。この大きな流れで受け入れられた日本語借用語は政治・経済・文化・生活など多方面にわたり、規模が大きく、分野も広いものであった。時が半世紀くらい経ち、20 世紀 80 年代の中国の改革開放の時代に入ると同時に、日本語借用語の受け入

*国際交流センター（天津外国語大学交流教員） International Exchange Center

れがもう一つの流れを起こしていた。さきの流れと比べ、今度は独自のカラーを持っているようである。その語彙分野は一回目の流れほど広くないが、ボリュームに限って言えば、全く見劣りしない。二回目の流れが主に経済と社会・文化の分野に集中しているが、その中において、アニメ・漫画に現れた日本語借用語が社会・文化の分野における日本語借用語の中で大きな割合を占めている。本論文は日本のアニメ・漫画に対する中国人日本語学習者の意識調査を契機に、それに関しての研究の重要性を再認識し、日本のアニメ・漫画作品に現れる日本語借用語を対象に、その語構成の特徴を検討するものである。

2. 研究対象と研究方法

2.1 研究対象

イノベーションに富んだ多才多能なアニメ・漫画家らの手によって、日本のアニメ・漫画発展史上に数多くの名作品が残されている。これらの名作品が中国に上陸し、度重なる日本アニメ・漫画ブームが起こり、中国人特に若者層の熱愛を博したといえよう。したがって、これらのアニメ・漫画の名称、またはその作品の中に出てくるキャラクターも広く知られるようになってきた。たとえば、早期の「聪明的一休」もあれば、後の「圣斗士星矢」、「机器猫」、「樱桃小丸子」などもあり、比較的新しいものとしては「驱魔少年」、「死神」などもある。日本のアニメ・漫画の中国での風靡によって、これらのアニメ・漫画用語はすでに単なる翻訳語ではなく、固定の使用者を持ち、しかもほとんどが中国人の生活の中に融け込んだ形になっている新しい日本語借用語に進化しつつある。

これらのアニメ・漫画日本語借用語の語構成の特徴を検討するにあたって、筆者は46名のアニメ・漫画家の76の名作品を取り上げて研究を進めることにする。¹⁾

2.2 研究方法

日本のアニメ・漫画作品が中国の人に知られる過程においては、一つの重要で不可欠な一環としてはこれらの作品に対する翻訳であろう。これらのアニメ・漫画作品名、あるいはキャラクターの日中両言語での呼び名を全般的に比較してみると、音訳の方法が取られていたり、意訳の方法が生かされていたり、日本語がそのまま受け継がれていたりしているのがある。中には「龙猫」、「机器猫」、「小甜甜」など、イキイキとしたイメージを持つ翻訳があり、完全に中国人に受け入れられており、すっかり中国の一般市民生活の一部になっているとも言えよう。本論においては、日本のアニメ・漫画作品名とキャラクターの日本語・中国語の呼び名の相違を研究することによって、これらのアニメ・漫画日本語借用語の語構成の特徴を検討してみた。

3. 日本のアニメ・漫画に関する意識調査

日本から発信するアニメや漫画作品が世界中を魅了する中、中国もその例外ではない。中国では、若者層を中心に日本のアニメ・漫画がブームとなり、とりわけ日本語学習者の中で、日本のアニメ・漫画がきっかけで日本語の勉強を始めたり、アニメ・漫画作品を見ることによって日本語を勉強していたりするのが極普通なことだとも言われている。そこで、中国国内の日本語学習者を対象に日本のアニメ・漫画に対する意識をアンケート調査してみた。

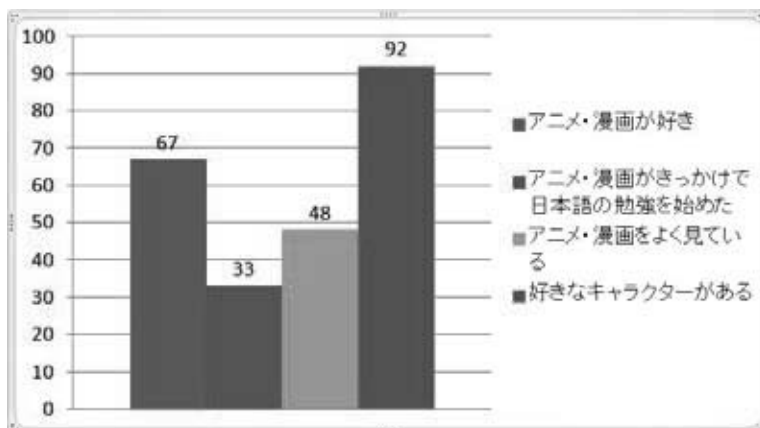


図1 中国人日本語学習者が意識している日本のアニメ・漫画²⁾

この調査は中国人日本語学習者 100 名を対象に行ったものであり、四つの設問を設けておいた。「アニメ・漫画が好き」に対しては 67 名、「アニメ・漫画がきっかけで日本語の勉強を始めた」に対しては 33 名、「アニメ・漫画をよく見ている」に対しては 48 名、「好きなキャラクターがある」に対しては 92 名という結果になっている。

この意識調査の結果を受けて、中国人日本語学習者にとってのアニメ・漫画の重みというものを窺うことができる。したがって、本論文の研究対象であるアニメ・漫画日本語借用語の語構成の特徴に関する研究は日本語学習者にとって大きな意義を持っていると言っていいであろう。

4. アニメ・漫画日本語借用語の語構成の特徴

既に 2.1 の中で記述しておいたように、本論文は 46 名のアニメ・漫画家の 76 の名作品に現れる日本語借用語を研究対象とするもので、これらの借用語が中国語の中に受け入れられる際に使用された翻訳法をまとめることによって、その語構成の特徴を考察してみた。

4.1 音訳類アニメ・漫画日本語借用語

中国人が馴染んでいる日本のアニメ・漫画の中には、音訳の方法で訳されたものが多く存在する。例として取り上げられるのは円谷英二の作品に出ている「ゴジラ→哥斯拉」、「ウルトラマン→奥特曼」、安彦良和の作品に出ている「オリオン→亚里安」、または鳥山明の作品に出ている「アラレちゃん→阿拉蕾」などがあり、いずれも人に馴染みやすいもので、すぐにも覚えられるアニメ・漫画日本語借用語である。この 76 の作品にある音訳型アニメ・漫画日本語借用語を表 1 のようにまとめた。

表 1 にまとめられたアニメ・漫画日本語借用語を全体的に見ると「音訳類」に分類することができるものの、語構成の立場で細かくみると、いくつか違うタイプに再分類することができるようである。

表 1

No	作者	作品日本語名	作品中国語名
<1>	円谷英二	ゴジラ	哥斯拉
<2>	円谷英二	ウルトラマン	奥特曼
<3>	安彦良和	オリオン	亚里安
<4>	藤子・F・不二雄	ドラえもん	哆啦 A 梦
<5>	大友克洋	AKIRA	阿基拉
<6>	安彦良和	ビーナス戦記	维纳斯战记
<7>	富野喜幸	機動戦士ガンダム	机动战士高达
<8>	種村有菜	神風怪盗ジャンヌ	神风怪盗贞德
<9>	手塚治虫	鉄腕アトム	铁臂阿童木
<10>	宮崎駿	ハウルの動く城	哈尔的移动城堡
<11>	庵野秀明	不思議の海のナディア	冒险少女娜汀亚
<12>	荒木飛呂彦	ジョジョの奇妙な冒険	JOJO 的奇幻冒险
<13>	青山剛昌	名探偵コナン	名侦探柯南
<14>	いがらしゆみこ	ジョージ!	乔治女士
<15>	鳥山明	アラレちゃん	阿拉蕾

(1) 完全音訳語型

語構成の立場から言えば、完全音訳語型アニメ・漫画日本語借用語と日本語名を比較すれば、日本語名には漢字が現れず、中国語名＝借用語は完全に音訳の手法でできていることが分かる。このような完全音訳語型アニメ・漫画日本語借用語は今回の研究対象においては、<1>「ゴジラ→哥斯拉」、<2>「ウルトラマン→奥特曼」、<3>「オリオン→亚里安」、<4>「ドラえもん→哆啦 A 梦」、<5>「AKIRA→阿基拉」がある。

この中で面白いのはもっぱら漢字ではなく、「哆啦 A 梦」のようにアルファベットを使ったアニメ・漫画日本語借用語もあることを指摘しておきたい。また、もうひとつ取り立てて言いたいのは「AKIRA→阿基拉」であるが、中国語の場合、「AKIRA」という英文字を使うのではなく、漢字表記の「阿基拉」にしているところから、中国人が如何に漢字を好むかがわかるであろう。

(2) 音訳語＋語形借用語型³⁾

表 1 にある<6>「ビーナス戦記→维纳斯战记」、<7>「機動戦士ガンダム→机动战士高达」、<8>「神風怪盗ジャンヌ→神风怪盗贞德」の三つの借用語は語構成においては共通点がある。その特徴は音訳語と和製漢語の組み合わせでできていることにある。具体的に言えば「维纳斯」、「高达」、「贞德」は音訳語であるのに対し、「战记」、「机动战士」、「神风怪盗」は和製漢語に当たる。しかも、借用語の中では、これら和製漢語の語形をそのまま借り入れて使っている。本論文では、このようなものを「音訳語＋語形借用語型」として分類しておく。

(3) 音訳語＋意識語型

次は<9>「鉄腕アトム→铁臂阿童木」、<10>「ハウルの動く城→哈尔的移动城堡」、<11>「不思議の海のナディア→冒险少女娜汀亚」、<12>「ジョジョの奇妙な冒険→JOJO 的奇幻冒险」、<13>「名探偵コナン→名侦探柯南」を見ておきたい。これらに共通しているところはどこかと言うと、「阿童木」、「哈尔」、「娜汀亚」、「JOJO」、「柯南」は音訳語であり、一方の「铁臂」、「移动城堡」、「冒险少女」、「奇幻冒险」、「名侦探」などは意識語であることにある。このような語構成の特徴をもつ借用語を音訳型＋意識型アニメ・漫画日本語借用語に分類しておこう。

この中で特別なのは「JOJO」であり、漢字表記を使わずにアルファベットを使っている。これは「JOJO」という音を漢字で表記しにくいことからアルファベットを使うことにしただけではなく、「JOJO」という表示方法により、二つのメリットが考えられる。一つは日本語名の発音をそのまま表現することができ、オリジナルさが保たれる。もうひとつは「JOJO」はカタカタ語「ジョジョ」のローマ字表記にぴったり合っているのである。このような翻訳法は最近の借用語(日本語借用語に限らない)に多く取り入れられるようになっている。

(4) 音訳語＋補助語型

〈14〉「ジョージィ!→乔治女士」、〈15〉「アラレちゃん→阿拉蕾」を観察してみれば、この二組は前述の三種類とは違う語構成を持っていることが分かる。

「乔治女士」の語構成は音訳語「乔治」と補助語「女士」の組合せでできているのに対し、「阿拉蕾」の場合、形成過程において、もともとあった「ちゃん」が脱落することになってしまった。

このようなアニメ・漫画日本語借用語にある補助の意味をもつ語は翻訳過程において出たり出なかったりすると考えられるが、いつ出るかについては、日中両言語の相違、キャラクターそのもののイメージに関わっているし、翻訳者の翻訳手法にもよるものだと考えられる。

4.2 意識類アニメ・漫画日本語借用語

上述の音訳類アニメ・漫画日本語借用語のほかに、意識の方法でできたものもある。典型的な例として、伊藤潤二の作品に出ている「死びとの恋わずらい→至死不渝的爱」、または新海誠の作品に現れている「彼女と彼女の猫→她和她的猫」と「雲のむこう、約束の場所→云之彼端，约定的地方」などが取り上げられる。このような翻訳語が日本語原作にある意味を的確に表しているのみならず、中国人にも受け入れられ、広く使われるようになっている。

次には、音訳類アニメ・漫画日本語借用語の再分類について検討してみよう。

表 2

No	作者	日本語名	中国語名
〈16〉	種村有菜	満月を探して	寻找满月
〈17〉	伊藤潤二	死びとの恋わずらい	至死不渝的爱
〈18〉	新海誠	彼女と彼女の猫	她和她的猫
〈19〉	新海誠	星の声	星之声
〈20〉	新海誠	雲のむこう、約束の場所	云之彼端，约定的地方
〈21〉	新海誠	秒速 5 センチメートル	秒速五厘米
〈22〉	荒川弘	鋼の錬金術師	钢之炼金术师
〈23〉	手塚治虫	ジャングル大帝	森林大帝
〈24〉	手塚治虫	火の鳥	火鸟
〈25〉	今敏	東京ゴッドファーザーズ	东京教父
〈26〉	小畑健	デスノート	死亡笔记
〈27〉	大友克洋	スチームボーイ	蒸汽男孩
〈28〉	北条司	シティーハンター	城市猎人
〈29〉	岩井恭平	サマーウォーズ	夏日大作战
〈30〉	富堅義博	HUNTER	猎人

<31>	士郎正宗	BLACK MAGIC	黒色魔法
<32>	石森章太郎	仮面ライダー	假面骑士
<33>	宮崎駿	千と千尋の神隠し	千与千寻
<34>	宮崎駿	風の谷のナウシカ	风之谷
<35>	宮崎駿	天空の城ラピュタ	天空之城
<36>	桂正和	Video Girl Ai	电影少女
<37>	手塚治虫	鉄腕アトム	铁臂阿童木
<38>	宮崎駿	ハウルの動く城	哈尔的移动城堡
<39>	庵野秀明	不思議の海のナディア	冒险少女娜汀亚
<40>	荒木飛呂彦	ジョジョの奇妙な冒険	JOJO 的奇幻冒险
<41>	青山剛昌	名探偵コナン	名侦探柯南
<42>	士郎正宗	アップルシード	苹果核战记
<43>	松本零士	宇宙戦艦ヤマト	宇宙战舰大和号

4.1の方法論でいくと、筆者は意識類アニメ・漫画日本語借用語を以下の五つに分けて論じてみた。

(1)完全意識語型

表2を眺めてみると、<16>「満月を探して→寻找满月」、<17>「死びとの恋わずらい→至死不渝的爱」、<18>「彼女と彼女の猫→她和她的猫」、<19>「星の声→星之声」、<20>「雲のむこう、約束の場所→云之彼端，约定的地方」、<21>「秒速5センチメートル→秒速五厘米」、<22>「鋼の錬金術師→钢之炼金术师」、<23>「ジャングル大帝→森林大帝」、<24>「火の鳥→火鸟」、<25>「東京ゴッドファーザーズ→东京教父」、<26>「デスノート→死亡笔记」、<27>「スチームボーイ→蒸汽男孩」、<28>「シティーハンター→城市猎人」、<29>「サマーウォーズ→夏日大作战」、<30>「HUNTER→猎人」、<31>「BLACK MAGIC→黒色魔法」などは全く意識で作られている借用語であり、「完全意識語型」に分類することができるであろう。

この中の「ジャングル」、「ゴッドファーザーズ」、「デスノート」、「スチームボーイ」、「シティーハンター」、「サマーウォーズ」は英語由来の外來語で、これらを中国語にした場合、漢字で表記の方が容易に理解できるが、「HUNTER」と「BLACK MAGIC」は完全な英語表記であっても、これくらいの英語なら難なく理解できる中国人はやはり漢字表記の「猎人」と「黒色魔法」にしている。ここからも前述した中国人の漢字表記を好む傾向が窺える。

(2)語形借用語＋意識語型

石森章太郎の作品に現れている<32>「仮面ライダー→假面骑士」の中にある「假面」は日本語原作の「仮面」をそのまま借り入れて使うことになるが、一方の「骑士」は「ライダー」の意識語である。このようなものを「語形借用＋意識語型」として分類しておこう。

(3)一部意識語型

表2にある<33>「千と千尋の神隠し→千与千寻」と<34>「風の谷のナウシカ→风之谷」、<35>「天空の城ラピュタ→天空之城」、<36>「Video Girl Ai→电影少女」をみると、「千与千寻」、「风之谷」、「天空之城」と「电影少女」は日本語原作の部分的意識にすぎないことがわかるであろう。中国広東語の「鬼掩眼」という意味にあたる「神隠し」は訳語には現れていない。これと同様に、日本語原作の「風の谷のナウシカ」の中にある「ナウシカ」も翻訳者に訳されていない。「ナウシカ」はこの作品において王国の姫様「娜乌西卡」であり、意識の方法でこのキャラクターは訳されたが、日中両言語対訳の観点から見れば、「风之谷」は一部意識語型のアニメ・漫画借用語にあたる。「天空之城」という借用語に原作名にある「ラピュタ」が脱落している理

由は二つが考えられる。一つは「ラピュタ」は空に浮かぶ島のことを指し、中国語にされた場合、「城」の意味と重複してしまうので、「天空之城」だけで表現されたと考えられる。もう一つは中国人は四字熟語を好むことから、切りの良い「天空之城」になったとも考えられる。また、桂正和の作品に出た<36>「电影少女」も日本語原作「Video Girl Ai」に対する部分的意識であり、原作の少女名「Ai」は翻訳語の中では脱落している。

(4) 意識語＋音訳語型

前後の並ぶ順序だけの違いであるが、<37>「鉄腕アトム→鉄臂阿童木」、<38>「ハウルの動く城→哈尔的移动城堡」、<39>「不思議の海のナディア→冒险少女娜汀亚」、<40>「ジョジョの奇妙な冒険→JOJO 的奇幻冒险」、<41>「名探偵コナン→名侦探柯南」は「意識語＋音訳語型」にもなる。以上の五つは 4.1「音訳類」と 4.2「意識類」に両属することになる。

(5) 意識語＋補助語型

<42>「アップルシード→苹果核战记」の中に出ている「战记」、<43>「宇宙戦艦ヤマト→宇宙战舰大和号」の中に出ている「号」は日本語原作にない補助的な意味を持つ語であるが、一方の「苹果核」と「宇宙战舰大和」は意識語である。このようなものは「意識語＋補助語型」に分類しておくことにする。

4.3 語形借用類アニメ・漫画日本語借用語

「写真」・「人気」・「玄关」など、近現代中国語語彙の中には日本語の語形をそのまま借り入れて使われる借用語が多く存在する。アニメ・漫画日本語借用語の範囲内にもこのような語形借用語が存在している。

表 3

No	作者	日本語名	中国語名
<44>	榎図かずお	漂流教室	漂流教室
<45>	和月伸宏	武装錬金	武装炼金
<46>	久保帯人	死神	死神
<47>	浦澤直樹	20 世紀少年	20 世纪少年
<48>	横山光輝	鉄人 28 号	铁人 28 号
<49>	横山光輝	三国志	三国志
<50>	横山光輝	伊賀の影丸	伊贺的影丸
<51>	宮崎駿	魔女の宅急便	魔女宅急便
<52>	原哲夫	影武者徳川家康	影武者徳川家康
<53>	伊藤潤二	富江	富江
<54>	今敏	千年女優	千年女优
<55>	富堅義博	幽遊白書	幽游白书
<56>	岸本斉史	火影忍者	火影忍者
<57>	空知英秋	銀魂	银魂
<58>	押井守	攻殻機動隊	攻壳机动队
<59>	大友克洋	童夢	童梦
<60>	高橋留美子	犬夜叉	犬夜叉

<61>	藤子・F・不二雄	オバケの Q 太郎	Q 太郎
<62>	美樹本晴彦	超時空要塞マクロス	超时空要塞
<63>	武内直子	美少女戦士セーラームーン	美少女战士
<64>	押井守	機動警察パトレイバー	机动警察
<65>	安彦良和	ビーナス戦記	维纳斯战记
<66>	富野喜幸	機動戦士ガンダム	机动战士高达
<67>	種村有菜	神風怪盗ジャンヌ	神风怪盗贞德
<68>	石森章太郎	仮面ライダー	假面骑士
<69>	桂正和	DNA2	DNA2
<70>	桂正和	I'S	I'S
<71>	矢沢あい	NANA	NANA

表 3 をもう少し細かく分類すれば、次のようなものになる。

(1) 日中同形語型

表 3 の<44>～<49>の中にあるアニメ・漫画日本語借用語は完全に日本語と同形であることが分かる。しかし、日中同形語ではあるが、<44>「漂流教室→漂流教室」、<45>「武装錬金→武装錬金」、<46>「死神→死神」、<47>「20 世紀少年→20 世纪少年」、<48>「鉄人 28 号→铁人 28 号」、<49>「三国志→三国志」を見ると、これらは借用語となった場合、本来の意味とはやや違い、アニメ・漫画作品特有の意味合いを持つようになる。たとえば、アニメ・漫画借用語としての「死神」は中国語の元来の「死神」とは意味的に違うだろうし、「三国志」も中国古典文学の「三国志」とも違っている。

アニメ・漫画用語のカテゴリーで言うと、これらの語は既に中国語原語の意味を超え、日本のアニメ・漫画作品としてのカラーを濃厚に持っている。

(2) 完全語形借用語型

<50>「伊賀の影丸→伊贺的影丸」、<51>「魔女の宅急便→魔女宅急便」、<52>「影武者徳川家康→影武者徳川家康」、<53>「富江→富江」、<54>「千年女優→千年女优」、<55>「幽遊白書→幽游白书」、<56>「火影忍者→火影忍者」、<57>「銀魂→银魂」、<58>「攻殻機動隊→攻壳机动队」、<59>「童夢→童梦」、<60>「犬夜叉→犬夜叉」は単なる語形の観点から見れば、同形に近いが、中国語にはない語なので、日中同形語には当て嵌まらない。いずれも日本語特有の言葉であり、和製漢語と言ってもいいものをそのまま借り入れて使われている。その一部は、「伊賀」が地名、「徳川家康」が人名、「女优」が文化的用語として既によく知られるようになっているとは言え、「伊賀的影丸」、「影武者徳川家康」、「千年女优」などのように、ほかの語と組み合わせた形で現れるのは最近のことである。

尚、<50>「伊賀の影丸→伊贺的影丸」と<51>「魔女の宅急便→魔女宅急便」の中に出ている格助詞「の」については、翻訳者の扱い方によって「的」に訳されたり、省略されたりすることとなると考えられるが、「魔女の宅急便」の中にある「の」が脱落しているのは中国語の音節に関係しているかもしれないが、ここでは、語形を中心に論じるものであり、「的」の有無による違いを論じないこととしておきたい。

これらの借用語は語形から言うと、日本語原語の語形をそのまま継承したが、中国人による作品の受け入れに従って、「完全語形借用語型アニメ・漫画日本語借用語」の背後にある文化的意味も中国人に理解されるようになる。

(3) 一部語形借用語型

「完全語形借用型」とは違い、<61>「オバケの Q 太郎→Q 太郎」、<62>「超時空要塞マクロ

ス→超时空要塞」、<63>「美少女戦士セーラームーン→美少女战士」、<64>「機動警察パトレイバー→机动警察」に現れている借用語を見ていくと、日本語原語の「オバケのQ太郎」、「超时空要塞マクロス」、「美少女戦士セーラームーン」、「機動警察パトレイバー」に比較して、借用語の「Q太郎」、「超时空要塞」、「美少女战士」、「机动警察」はその日本語原語の語形の一部しか使っていない。このようなものを「一部語形借用語型」としておこう。

(4) 語形借用語＋音訳語型

表3に出ている「語形借用語＋音訳語型」アニメ・漫画日本語借用語は<65>「ビーンズ戦記→维纳斯战记」、<66>「機動戦士ガンダム→机动战士高达」、<67>「神風怪盗ジャンヌ→神风怪盗贞徳」の三つある。この三つは既に4.1の(2)の中で論じていたが、語構成から言うと、「語形借用語」と「音訳語」の前後の並べ方の違いだけであるため、両属のものと見なしてよいのであって、ここでは贅言しないこととする。

(5) 語形借用語＋意識語型

表3にある「語形借用語＋意識語型」アニメ・漫画日本語借用語<68>「仮面ライダー→假面骑士」は既に4.2の(2)で論じられ、両属のものである。

(6) アルファベット型

表3にある<69>「DNA2→DNA2」、<70>「I"S→I"S」、<71>「NANA→NANA」は語構成の立場でいうと、日本語名にあるアルファベットの表記法をそのまま取り入れて使っている。中国人が漢字表記を好むからと言って、これらを漢字で表記するのはなかなか難しいため、もとの形をそのまま使ったのであろう。このようなアニメ・漫画日本語借用語を「アルファベット型」に分類しておく。

4.4 キャラクター・イメージ加工類アニメ・漫画日本語借用語

4.1の(1)にある「ドラえもん→哆啦A梦」は音訳型のアニメ・漫画日本語借用語ではあるが、一方でもう一つよく知られている「机器猫」という呼び名もある。この呼び方は音訳法によるものでもなく、意識法によるものでもない。それに、日本語名の語形にも拘っていない。結果としては、キャラクターそのものの特徴に因んで人為的に加工して得られたものだと考えられる。このようなアニメ・漫画日本語借用語は数多くあるとは言えないが、キャラクターの特徴を表しきれるところとしては、日本語名より遥かに適当で、合理性も持つものとなっていると言えよう。本論文の研究対象においては、以下の15組がある。

表4

No	作者	日本語名	中国語名
<72>	永井豪	マジンガーZ	铁甲万能侠
<73>	藤子・F・不二雄	ドラえもん	机器猫
<74>	宮崎駿	となりのトトロ	龙猫
<75>	宮崎駿	もののけ姫	幽灵公主
<76>	手塚治虫	ブラックジャック	怪医秦博士
<77>	高橋留美子	うる星やつら	福星小子
<78>	庵野秀明	新世紀エヴァンゲリオン	新世纪福音战士
<79>	井上雄彦	スラムダンク	篮球飞人
<80>	尾田栄一郎	ONE PIECE	海贼王

<81>	星野桂	D.Gray-man	驱魔少年
<82>	いがらしゆみこ	キャンディ・キャンディ	小甜甜
<83>	あだち充	タッチ	棒球英豪
<84>	鳥山明	ドラゴンボール	七龙珠
<85>	小畑健	ヒカルの碁	棋魂
<86>	和月伸宏	るろうに剣心	浪客剣心

5. おわりに

本論文では日本のアニメ・漫画に対する中国人日本語学習者の意識調査を契機に、アニメ・漫画用語についての研究の重要性を念頭におきながら、アニメ・漫画日本語借用語を対象に、「音訳」、「意識」、「語形」、「キャラクター・イメージ」といった四つの角度からその語構成の特徴について分析を重ねてきた。結果としては、大きい意味で「音訳類」、「意識類」、「語形借用類」、「キャラクター・イメージ加工類」に分けられるが、語構成の観点に立つと、更に細分化されることもありうるということが分かった。このように語構成の検討により、アニメ・漫画日本語借用語について再認識することができた。今回はアニメ・漫画の名称、或はその作品の中に出てくるキャラクターに限って考察を行なってきたが、それ以外にも日本のアニメ・漫画の台詞などから取り入れられた借用語が沢山あり、それらを今後の課題として研究していきたい。

註

- 1) 本論文においては、李捷(2012)『日本漫画史話』の中に列挙している46のアニメ・漫画家の76の作品を量的研究対象とする。
- 2) この意識調査は中国・天津外国語大学在学中の日本語専攻の中高学年(二・三年)学生100名を対象に行ったものである。
- 3) 語形借用語に関しては、本論文において、いわゆる漢字の「繁体字」と「簡体字」の違い、或は日中両言語による漢字表記の違いを問わないこととする。例えば、「戦記」と「战记」、「機動」と「机动」のような表記の違い。
尚、分類法の「音訳語＋語形借用語型」、「語形借用語＋意識語型」、「音訳語＋意識語型」と、「語形借用語＋音訳語型」、「意識語＋語形借用語型」、「意識語＋音訳語型」とは語構成要素の前後の並べ方の違いだけであることを断わっておきたい。

参考文献

- 谷奕暁・桑本裕二(2011)「中国語における日本語借用語としての若者ことばの語彙的特徴」『東北大学言語学論集』
- 韓若氷(2008)「日本動漫於日語學習的意義」『山東外語教学』
- 李捷(2012)『日本漫画史話』中国青年出版社
- 瀋文凡(2008)「新時期日源借詞の引入及其特点」『日本学論壇』
- 吳新蘭(2013)「日本動漫在日語學習中的作用与影響」『貴州民族大学学报』